

平成26年度 事業報告

I 継続事業

2. 国際協力事業

① JICA草の根技術協力事業（地域提案型）カンボジア王国シェムリアップ市対象
「音楽教育を活用した教員の授業実践力向上プロジェクト」事業（最終年度）

<派遣：4月27日（日）～5月5日（月） 9日間 於：カンボジア王国シェムリアップ市>

滝川高校OGであり、元青年海外協力隊員 田中 千草氏が人生を賭して活動しているシェムリアップ市ワット・ポー小学校等の教育支援を行う本事業は、今回の派遣で3年間に及ぶ本事業の取りまとめ等を行い、終了した。

派遣人数：3名（教育専門家2名、随同行1名）

- 第6次教育専門家派遣帰国報告会：6月3日（火） 於：ホテルスエヒロ
参加者数：62名

② JICA課題別研修「アフリカ地域アグリビジネスの振興と農村開発（B）」コース研修員受入事業

<7月30日（水）～9月13日（土） 46日間 於：滝川市内外>

今年度初めて受託した本事業は、アフリカ2か国（ソマリア共和国、ナイジェリア連邦共和国）から8名の研修員を受け入れ、アグリビジネスによる農家の収入向上・貧困削減を目的として実施した。江部乙農産物加工研究会手作りの家とまと、中村農園、道の駅たきかわ、（有）大橋さくらんぼ園、芦別かあちゃん市、たきかわ農業協同組合、黒千石事業協同組合、國學院大學北海道短期大学部等で実習・視察等を行った他、元北海道農業改良普及員の峯岸 三枝子氏、木下 初子氏から熟練した加工の技術と知識をご教授頂いた。



8月23日（土）には4家庭でホームビジットを行った他、9月6日（土）には「EARTH FUN DAY in 丸加」にも参加し、国際性豊かな市民活動の醸成に寄与した。

（当協会受託研修期間は、7月31日（木）～9月11日（木）までの43日間）

受入人数：9名（研修員8名、随同行1名）

- 合同歓迎会：8月22日（金） 於：マツオジンギスカン本店
参加者数：56名（大人23名、外国人26名、ボランティア7名）
- 送別会：9月11日（木） 於：ホテルスエヒロ
参加者数：31名（大人19名、中高生4名、外国人8名）

③ JICAモザンビーク国別研修「農村振興・技術セミナー」コース研修員受入事業

<8月12日（火）～9月10日（水） 30日間 於：滝川市内外>

当協会が実施してきたJICAモザンビーク国別研修「農村振興」コースは当初の3年間の予定を終了したが、現地事務所の要望により今年度は改良を加えて、引き続き同国から農業改良普及員8名を受け入れた。

空知農業改良普及センター中空知支所、空知土地改良区、ホクレン滝川種苗生産センター、中央農業試験場遺伝資源部、中村果樹園、ノザワ農場、たきかわ農業協同組合、花・野菜技術センター、（有）大橋さくらんぼ園、中村農園、野口ファーム、空知総合振興局滝川地域保健部、江部乙農産物加工研究会手作りの家とまと等で実習・視察等を行った他、元北海道農業改良普及員 峯岸 三枝子氏、木下 初子氏から農産品加工技術や知識についてもご教授頂いた。



また、9月6日（土）に行った「EARTH FUN DAY in 丸加」にも参加し、国際性豊か

な市民活動の醸成に寄与した。

(当協会受託研修期間は8月14日(木)～9月9日(火)までの27日間)

受入人数：9名(研修員8名、随員1名)

- 合同歓迎会：8月22日(金) 於：マツオジンギスカン本店
参加者数：56名(大人23名、外国人26名、ボランティア7名)

④ 平成26年度第6回ベトナム・カンボジアスタディツアー

<派遣：平成27年1月4日(日)～1月11日(日) 8日間

於：ベトナム社会主義共和国、カンボジア王国>

現在急速に経済が発展しているベトナム社会主義共和国では、「ツーザー病院平和村」「戦争証跡博物館」等を訪れ、戦争の恐ろしさや悲惨さを改めて認識し理解を深めた。



カンボジア王国プノンペン市並びにシェムリアップ市では、「トゥールスレン博物館」「アキ・ラー地雷博物館」等を訪問し、カンボジア王国が直面した苦難の歴史について理解を深めた。

また、田中 千草氏が代表を務める「アナコットカンボジア」と連携し、実施したJICA草の根技術協力事業(地域提案型)カンボジア王国シェムリアップ市対象「音楽教育を活用した教員の授業実践力向上プロジェクト」の対象校であるワット・ボー小学校、トロー・オンドーン小学校を訪問した。

トロー・オンドーン小学校では、今年度滝川市が実施した「アナコットカンボジア縫製技術指導者育成事業」の対象者が縫製を行っている現場を訪問し、製品の1つである象のマスコットづくりを体験した他、自己紹介やじゃんけんゲーム、カレー作り等を通して児童と心の通った交流を図った。本事業には、昨年度から滝川高校、滝川西高校の生徒が参加しているが、今年度は両校から各2名、社会人3名の計7名で実施した。

参加者：8名(高校生4名、一般3名、随員1名)

⑤ 滝川高校「カンボジアゆめプロジェクト」支援事業

当協会の「ベトナム・カンボジアスタディツアー」をきっかけに、平成21年度からカンボジアの子ども達を支援するために滝川高校生徒会並びに国際交流部が主体的に進めている「カンボジアゆめプロジェクト」を支援した。

⑥ JICA青年研修「アフリカ(英語)／職業訓練教育」コース研修員受入事業

<平成27年1月12日(月)～1月29日(木) 18日間 於：滝川市内外>

アフリカ9か国(エジプト・アラブ共和国、エチオピア連邦民主共和国、ガーナ共和国、ナミビア共和国、ナイジェリア連邦共和国、ルワンダ共和国、南スーダン共和国、タンザニア連合共和国、ウガンダ共和国)14名の研修員が来滝し、住友農園、國學院大學北海道短期大学部、滝川工業高校、北海道障害者職業能力開発校、滝川公共職業安定所、(一社)中空知地域職業訓練センター協会、北日本自動車大学校、滝川西高校、武藤工業(株)で研修を行い、日本の職業訓練教育について理解を深めた。



また、18日(日)にはEnglish Camp、24日(土)には市内外8家庭でホームビジットを行い、市民との交流も図った。

(当協会受託期間は1月15日(木)～27日(火)までの13日間)

受入人数：16名(研修員14名、随員2名)

- 送別会：1月27日(火) 於：ホテル三浦華園
参加者数：54名(大人30名、子ども7名、中高生3名、外国人14名)

⑦ 身近なものによる開発途上国支援

<随時>

企業、団体、個人の皆様から寄付して頂いた書き損じはがき、使用済切手、インクカートリッジ等を開発途上国支援に役立てた。

- ご寄付頂いたもの

・使用済みインクカートリッジ（バラ買い168個、重量買い0.1kg）	10,876円
・使用済みトナー（バラ買い1個）	324円
・使用済み切手（1.87kg）	1,496円

⑧ **ダルニー奨学金**

（一財）日本国際交流センターが推進するラオス人民民主共和国の子ども達の就学を支援する取り組みに協会事業として1名分を協力している。

⑨ **NGO等支援事業**

滝川高校OGで元青年海外協力隊員の田中 千草氏が代表を務める教育支援団体「アナコットカンボジア」から委託を受け、当協会がアナコットグッズを販売した他、「北海道NGOネットワーク協議会」やマラウイ共和国を視察した市民で構成する「滝川マラウイクラブ」、ケニア共和国を支援している「山口ケニアを知る会」等、開発途上国を支援しているNGO団体への支援・協力等を行った。